

# 第51回 生命科学夏の学校 開催報告書

生化学若い研究者の会

1. 生命科学夏の学校の概要
2. プログラム
3. シンポジウム・ワークショップ
4. ポスターセッション
5. 参加者交流企画
6. 運営委員名簿
7. 後援・助成・協賛

# 1. 生命科学夏の学校の概要



## ◆生命科学夏の学校とは

生命科学に関連するあらゆる分野（生化学、細胞生物学、生物物理学、バイオインフォマティクス、生理学…etc）の若手研究者が、北は北海道、南は九州・沖縄まで全国から一堂に会して、3日間行われる講演会や交流企画に参加し交流を深めていく、（生命科学系に限らず）国内の若手研究者団体が主催するものとしては最大級の滞在型研究会です。

## ◆どんなことをするのか？

様々な分野の最先端で活躍されている先生方や、新しい分野を開拓している先生方をお招きしたワークショップ（講師講演）、シンポジウムが中心となります。3日目には実習型のワークショップも行われ、参加者である若手研究者のニーズに合わせた知識と技能を身に付け、持ち帰っていただきます。また、夜には懇親会が開かれます。その際には、お互いの研究を紹介したり、有志で集まって特定のトピックについて討論する「自由集会」を開催します。さらに、ポスターセッションも行われます。お酒を片手にディスカッションに花が咲くポスターセッションは毎年好評で、参加者投票によるポスター賞の選出も行われます。

## ◆醍醐味は？

若手研究者、講師との交流にあります。大学院生を中心に、下は学部1年生、上はポストドク・助教の先生方と、幅広い参加者層により関連分野、他分野の人々と多く出会う事ができます。

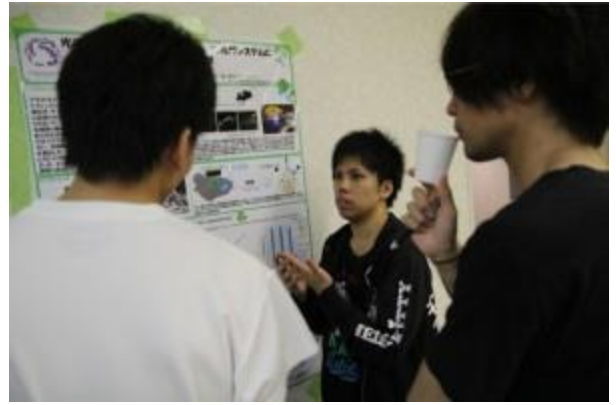
それによって同じ生命科学研究者として大いに語り合うことができます。お酒を飲みながらみんなでお互いの研究について語り合う機会というのは、そうそう体験できないかもしれません。夏の学校の醍醐味の一つといえます。

ともすれば自分の世界にこもりがちな研究者。外部からの刺激を受け入れる事で今まで気づけなかった考え方見方に出会えるかもしれません。そのきっかけとして生化学手夏の学校を利用してみては如何ですか。我々スタッフ一同、皆様の今後の研究人生に大きなプラスになるような企画をご用意してお待ちしております。



## ◆生命科学夏の学校の目的・意義

「生命科学夏の学校（以下、夏の学校）」は、生命科学に関連するあらゆる分野（生化学、細胞生物学、生物物理学、バイオインフォマティクス、生理学…etc）の若手研究者が、北は北海道、南は九州・沖縄まで全国から一堂に会して、3日間行われる講演会や交流企画に参加し交流を深めていく、（生命科学系に限らず）国内の若手研究者団体が主催するものとしては最大級の滞在型研究会です。



## ◆開催方針

「第51回生命科学夏の学校」では、その多様性に重点をおき、出来るだけ多様な考え方にふれることができるよう、13テーマのワークショップ、3テーマのシンポジウムを企画して参りました。ワークショップでは最先端の研究の話を中心に、留学の話題や、論文の書き方まで、様々なテーマの講演を聞くことが出来ます。またシンポジウムでは共同研究・バイオビジネス・進路問題のテーマに分かれて討論していただきます。これらの企画では皆様一人一人の興味の赴くままに傾聴、質問、討論していただきたいと思います。そして夜のポスター発表や懇親会では、全員が一堂に会します。そこでは昼間は別々の企画に参加していた参加者同士で交流する事になります。話題はお昼の講義について、普段の研究について、趣味の話など何でも良いので、この時間には是非たくさんの人と色々な話をしていただきたいと思います。日中は特定のテーマに沿って、夜はそれらのテーマを超えて意見交換を行う事で、様々な考え方に会える事だと思います。

## ◆開催概要

- 【主催】 生化学若い研究者の会、第51回生命科学夏の学校運営委員会
- 【後援】 社団法人日本生化学会、独立行政法人科学技術振興機構
- 【会期】 平成23年9月2日（金）－9月4日（日）
- 【会場】 公益財団法人大学セミナーハウス 八王子セミナーハウス  
(〒192-0372東京都八王子市下柚木1987-1)

## ◆講演者（五十音順・敬称略）

今中 忠行 先生	[立命館大学 生命科学部]
岩崎 博史 先生	[東京工業大学大学院 生命理工学研究科]
植田 和光 先生	[京都大学 iCeMS・農学研究科]
酒井 聡樹 先生	[東北大学大学院 生命科学研究科]
坂野 仁 先生	[東京大学大学院 理学系研究科]
西野 達哉 先生	[国立遺伝学研究所]
竹内 昌治 先生	[東京大学 生産技術研究所]
月田 早智子 先生	[大阪大学大学院 生命機能研究科/医学系研究科]
野地 博行 先生	[東京大学 工学系研究科]
花井 泰三 先生	[九州大学大学院 農学研究院]
深井 周也 先生	[東京大学 放射光連携研究機構生命科学部門]
守屋 央朗 先生	[岡山大学 異分野融合先端研究コア]
柳澤 純 先生	[筑波大学大学院 生命環境科学研究科]

## 2. プログラム



### 9月2日（金）

- 13:00～14:00 開校式
- 14:10～16:10 WS1\*
- ・海外留学：行くべきか行かざるべきか  
西野 達哉 先生 [国立遺伝学研究所]
  - ・核内受容体の新規メカニズムと疾患  
柳澤 純 先生 [筑波大学大学院 生命環境科学研究科]

#### ◆45周年記念キュベットワークショップ◆

- ・これから論文を書く若者のために  
酒井 聡樹 先生 [東北大学大学院 生命科学研究所]

- 18:00～19:00 夕食
- 19:30～20:30 研究交流会
- 20:30～22:00 シンポジウム話し合い
- 22:00～ 懇親会

### 9月3日（土）

- 9:00～10:30 WS2\*
- ・超好熱菌の解剖と利用  
今中 忠行 先生 [立命館大学 生命科学部]
  - ・上皮細胞間タイトジャンクションを基盤とした生体システムの構築  
月田 早智子 先生 [大阪大学大学院 生命機能研究科/医学系研究科]

- 10:50～12:20 WS3\*
- ・嗅覚研究により遺伝子-神経回路-行動判断のリンクを探る  
坂野 仁 先生 [東京大学大学院 理学系研究科]
  - ・細胞システムのロバストネスを測る  
守屋 央朗 先生 [岡山大学 異分野融合先端研究コア]

- 12:30～13:30 昼食
- 13:30～17:00 シンポジウム
- 18:00～19:00 夕食
- 19:00～22:00 大懇親会、ポスター、自由集会
- 22:00～ 懇親会

## 9月4日（日）

9:00～10:30            WS4\*

- ・ 組換え修復の分子機構

岩崎 博史 先生 [東京工業大学大学院 生命理工学研究科]

- ・ タンパク質の立体構造から細胞を理解する

深井 周也 先生 [東京大学 放射光連携研究機構生命科学部門]

10:50～12:20            WS5\*

- ・ ABCトランスポーターとともに一步一步

植田 和光 先生 [京都大学 iCeMS・農学研究科]

- ・ 合成生物学によるバイオアルコールの生産

花井 泰三 先生 [九州大学大学院 農学研究院]

12:30～13:30    昼食

13:30～14:30    閉会式



#### ◆シンポジウム

##### 共同研究

##### in vivo, in vitro, in silico 成功するグループ研究、共同研究の秘訣

科学が発展し、研究が高度な専門性を要求されるようになり、細分化されている昨今、知りたいことを追求し、新しい物を生み出すには共同研究やグループでの研究が欠かせなくなってきました。しかし、共同研究やグループ研究を成立させるには、研究の専門知識だけでなく、コミュニケーションスキルやネットワークが重要となってきます。成功する共同研究、グループ研究とはどのようにして行われているのでしょうか？総合討論では、共同研究、グループ研究の成功の秘訣を書き出し、本シンポジウムのアウトプットとしたいと思います。最終的に、様々な研究分野同士の相互作用によって何が生まれるのかを探るようなセッションを目指します。研究職を希望する方、グループ研究、共同研究に興味がある方を対象とします。



in vivo …… 末松 誠 先生 [慶應義塾大学 医学部医化学教室]  
共同研究例：COによる肝類洞血管拡張機構の解明（早稲田大学 武岡真司教授）、結核菌の新規代謝経路発見（コーネル大学 Carl Nathan教授）、がん幹細胞によるCD44を介したglutathione蓄積機構の解明（慶應義塾大学医学部 佐谷秀行教授）等



in vitro …… 津本 浩平 先生 [東京大学 医科学研究所]  
産学：プロテインマニピュレーション（味の素）、抗体工学関連（アステラス、化血研等）ほか、  
共同研究例：病原性微生物由来蛋白質の構造機能（医科歯科）、免疫系蛋白質（サントリー、熊大）等



in silico …… 高田 彰二 先生 [京都大学 理学研究科]  
共同研究例：例としては、構造生物学者から構造情報をもってシミュレーションによる機能解析を行う、生化学者からプロテオミクスデータをもらって情報論的な解析を行う、計算機で蛋白質を設計してそれを実験家に合成してもらうなどがあります。

### バイオビジネス

#### 「扉を開け! – ラボから生まれるバイオビジネス」：講堂

みなさんは研究室での発見を社会に還元したいと思ったことはありませんか？

“バイオビジネス”と聞くと、多くの研究者にとっては少し遠い存在に感じるかもしれません。

しかし、本当にそうでしょうか？バイオビジネスを開く扉は、いま私たちの目の前にも用意されてるのです。

本シンポジウムでは、実際に研究室での発見をもとにバイオベンチャーを立ち上げたお二人の起業家と、ベンチャー企業に投資を行い、数多くの起業を支えるキャピタリストの方による講演をお聞きいただきます。後半では、少人数のグループに分かれて、実際に起業プランを立案し、発表および評価を行うワークショップを計画しています。これらを通じて、日本のバイオビジネスについて知るだけでなく、研究室での発見を産業に結びつける方法や戦略について考えます。

#### ①「科学とイノベーションへのベンチャーキャピタル投資」



郷治友孝

株式会社東京大学エッジキャピタル(UTEC)代表取締役社長

##### 【会社紹介】

東京大学が承認する「技術移転関連事業者」として、大学の「知」の社会還元に向けて、優れた知的財産・人材を活用するベンチャー企業に対して投資を行うベンチャーキャピタルである。投資分野は、バイオ、IT、環境など研究開発に関する分野に渡り、起業時や創業早期において資金を投資するだけでなく、会社の設立前からを含めて、研究者や起業家とともに、事業計画と一緒に構築し、付加価値の向上やリスク低減のための経営支援を行っている。

#### ②「細胞治療のトータルサービス企業を目指して」



矢崎雄一郎 テラ株式会社 代表取締役

##### 【会社紹介】

2004年、東京大学医科学研究所の技術を元に、がんの免疫細胞療法『樹状細胞ワクチン療法』による、新しい医療支援サービスの提供を目的に創業。現在、国立大学病院を始めとした全国18カ所の契約医療機関に、樹状細胞ワクチン療法の技術・ノウハウを提供。累計3,850を超える症例数は、世界トップレベルを誇る。(症例数・契約医療機関数はいずれも2011年3月末現在)

#### ③「研究者にしかできない会社の作り方」



山口葉子 株式会社ナノエッグ代表取締役社長

##### 【会社紹介】

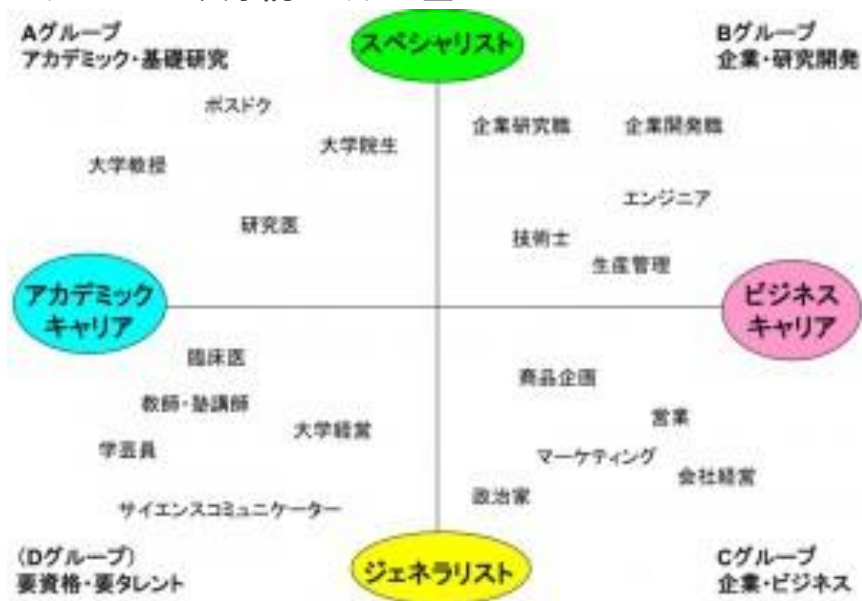
聖マリアンナ医科大学発ベンチャー企業。2006年4月に設立し現在に至る。皮膚疾患に関する基礎研究とともに、ナノテクノロジーをベースにした化粧品・医薬品に使用可能な素材を開発・販売している。また、皮膚の基礎研究をベースにした化粧品『マリアンナ』を販売し好評を得ている。



ワークライフバランス

徹底議論！研究者のワークライフバランス：大学院セミナー室

誰も仕事で成功したいと願う一方で、私生活も充実したいと思うものです。しかし研究ポジションの多くが任期制である今、若手はどう考えるべきなのでしょう。本セッションでは現役学生やアカデミックの研究者、企業研究者、研究以外の道に進んだ方などの多様なパネラーをお迎えします。若手研究者のキャリア形成についての多面的な意見交換をするとともに、大学研究室におけるキャリア支援についての提言をつくる機会とします。



全てのキャリアを二つの軸（アカデミック⇔ビジネスとスペシャリスト⇔ジェネラリスト）で分類したとき、4つのグループに分けることができます。Aグループはアカデミックキャリアで、かつスペシャリストのグループで、大学ポジションなどが該当します。Bグループはビジネスキャリアで、かつスペシャリストのグループで、企業の研究開発職などが該当します。Cグループはビジネスキャリアで、かつジェネラリストのグループで、マーケティングや営業などが該当します。Dグループはアカデミックキャリアで、かつジェネラリストのグループで、医師やサイエンスコミュニケーターが該当します（Dグループに関しては現実的なキャリアとして選択できる枠が少ないため、今回は議論しません）。図中の各職業の位置関係は大よその目安であり、絶対的なものではありません。

① 【パネリスト紹介】

**Aグループ：アカデミック・基礎研究**

谷崎奈美さん（仮名）：大学助教

筑波大学大学院生物科学研究科博士課程修了、理学博士

ポストドク（米国国立衛生研究所,理研CDB）

出身

女性、40代、既婚、子供1人

松田和也さん（仮名）：大学研究員

東京理科大学大学院薬学研究科博士課程修了、薬学博士

男性、20代後半、既婚

**Bグループ：企業・研究開発**

福井健一さん（仮名）：大手化学メーカー研究員

国立大学大学院医学研究科癌医学専攻、博士（医学）

（ポストドク→院医助教→企業研究者）出身

男性、30代後半、既婚

宮村健祐さん（仮名）：大手製薬メーカー研究員

東京工業大学大学院修士課程修了、博士課程に学ぶ

男性、20代後半、独身

**Cグループ：企業・ビジネスキャリア**

山本伸さん：外資系製薬企業勤務、多摩大学客員研究員、NPOサイコム理事

名古屋大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士

Basel Institute for Immunology、USサンディエゴ・ポストドク、武蔵工大非常勤講師

男性、30代後半、既婚、子供2人

足利洋介さん（仮名）：大手診断機器メーカー 課長

岡山大学大学院博士課程修了、工学博士 修士課程修了後、診断機器メーカーに入社。

退社後に学位取得し、その後現職

男性、30代前半、既婚、子供2人

大森明さん（仮名）：外資系大手化学

メーカー 技術営業職 就職内定

東京工業大学大学院博士課程在学中

男性、20代後半、既婚

そのほか、研究者志望の学生パネリストが参加

② 【コメンテーター紹介】

長井裕樹さん：株式会社アカリク 取締役、大学講師など

京都大学農学部卒、同大学院生命科学研究科修士課程修了

三菱化学株式会社を経て、現職

男性、30代、既婚、

## ◆ワークショップ

### WS1

●海外留学：行くべきか行かざるべきか : 大学院セミナー室

…… 西野 達哉 先生 [国立遺伝学研究所]

●核内受容体の新規メカニズムと疾患 : 中央セミナー室

…… 柳澤 純 先生 [筑波大学大学院 生命環境科学研究科]

### ◆45周年記念キュベットワークショップ◆

●これから論文を書く若者のために : 講堂

…… 酒井 聡樹 先生 [東北大学大学院 生命科学研究科]

### WS2

●超好熱菌の解剖と利用 : 大学院セミナー室

…… 今中 忠行 先生 [立命館大学 生命科学部]

●上皮細胞間タイトジャンクションを基盤とした生体システムの構築 : 講堂

…… 月田 早智子 先生 [大阪大学大学院 生命機能研究科/医学系研究科]

### WS3

●嗅覚研究により遺伝子-神経回路-行動判断のリンクを探る : 大学院セミナー室

…… 坂野 仁 先生 [東京大学大学院 理学系研究科]

●細胞システムのロバストネスを測る : 講堂

…… 守屋 央朗 先生 [岡山大学 異分野融合先端研究コア]

### WS4

●組換え修復の分子機構 : 中央セミナー室

…… 岩崎 博史 先生 [東京工業大学大学院 生命理工学研究科]

●タンパク質の立体構造から細胞を理解する : 大学院セミナー室

…… 深井 周也 先生 [東京大学 放射光連携研究機構生命科学部門]

### WS5

●ABCトランスポーターとともに一步一步 : 大学院セミナー室

…… 植田 和光 先生 [京都大学 iCeMS・農学研究科]

●合成生物学によるバイオアルコールの生産 : 中央セミナー室

…… 花井 泰三 先生 [九州大学大学院 農学研究院]

### WS4, 5と並行

◆合同ワークショップ◆ : 講堂

●生体分子・細胞を操るMEMS技術

…… 竹内 昌治 先生 [東京大学 生産技術研究所]

●分子機械&分子システムの1分子ダイナミクス解析と「創る」研究への展望

…… 野地 博行 先生 [東京大学 工学系研究科]

## 4. ポスターセッション



(以下、要旨より)

日時: 9月3日 20:00-21:30

第51回生命科学 夏の学校では、みなさまの日ごろの研究をポスター形式で発表してもらう企画「ポスターセッション」を開催します。本企画では、既にまとまっている研究だけではなく、着手段階・途中段階の研究も発表の対象です。発表者と聴講者が活発に討論することによって、新たなインスピレーションを得ることや研究者同士の深いコミュニケーションが出来る場となることを願っております。多彩な分野の発表により、本企画が研究者のつぼとなることを期待しております。皆様、是非奮ってご参加ください。

ポスターの仕様は次の通りとなります。

### 【使用言語】

日本語・英語

### 【ポスター形式】

サイズ: A0 (841×1189)

一枚にまとめても複数の紙を貼ることも可能です。

### 【発表形式・発表時間】

ポスターの掲示タイミング、発表時間(前半・後半)等は、夏の学校当日にご案内申し上げます。指し棒やレーザーポインター等の備品はございませんので、必要であれば、各自ご用意ください。

### 【ポスター賞】

優秀ポスターを2件選出し、表彰いたします。



### ◆研究交流会

日時: 9月2日 20:00-21:00

共同研究: 中央セミナー室 バイオビジネス: 講堂 ワークライフバランス: 中央セミナー室

新たな出会いで自分の器を広げよう。

今日、科学の細分化は止まるところを知らず、各分野の技術も独自に進化を続けています。新たなブレイクスルーを引き起こすために、異分野交流は必須と言えるでしょう。夏の学校は、様々な背景を持つ研究者が全国各地から大勢集まるよい機会です。是非、この3日間を通じて研究者同士の交流を深めあい、良い刺激としてください。

本セッションではシンポジウムなどに先立ち、少人数のグループに分かれて、事前に作成していただいた紹介用紙をもとに自己紹介をしていただきます。その後、シンポジウムのためのグループワークへと進みます。学会だけでは出会うことができない、様々な分野の人々との交流をどうぞお楽しみください。

参加者へのメッセージ

「生命科学夏の学校」は数ある夏の学校の中でも、規模が大きいものです。それにもかかわらず、結局知り合い同士で話して終わりというのはもったいない！ここをきっかけとしてつながりを広げ、夏の学校を100%楽しんでください。

### ◆自由集会

日時: 9月3日(土) 夜に開催

熱い議論、興味ある人この指と〜まれ

■自由集会とは？

夏学に「自由集会」が帰ってきました！！

みなさんは生化学若い研究者の会のルーツをご存知でしょうか？実は、1953年に開催された日本生化学会大会における自由集会「若い研究者の問題」において結成されたのです。自由集会とは、事前に参加者の皆さんから興味のあることや話し合いたいことを「Myテーマ」として募集し、それを元に小グループに分かれて開催する討論会&交流会です、親睦を深める、熱い議論を交わす、悩みを相談し合う。参加者の皆様ご自身が企画して運営できる時間です。当日は、興味のある集会があれば自由に参加して頂けます。

■Myテーマ(演題)の募集について

参加登録の際に「Myテーマ」を募集します。その際、「テーマ」のみと「テーマと進行役」として応募の二つから選択できます。「進行役」として応募された方には、開催する集会の進行をお願いします。会場の都合上プロジェクトを用いたプレゼンテーションはできませんが、ポストイット・模造紙・マジックなどはこちらでご用意します。応募されました集会の開催が決まりましたら、後日詳細についての連絡を差し上げます。備考をご覧の上、ご応募をぜひお待ちしております！

【備考】

- ・会場の収容可能性を上回る場合は、提案内容の多いものから採択した上、抽選になる場合があります。
  - ・同じテーマの場合は、他の参加者との共同開催をお願いします。
  - ・次のような内容をご遠慮ください。
1. 「特定の政党・政治家の支援活動、宗教の布教活動」に関する内容。
  2. 特定の個人を中傷する内容を含むと判断されるもの。

## 6. 運営委員名簿



### センター事務局長

飯島玲生 (大阪大学, D3)

### 夏学実行委員長

杉田昌岳 (立命館大学, D1)

### 夏学事務局長

網蔵和晃 (東京工業大学, D1)

### シンポジウム

谷中冴子 (東京大学, D2)

谷友香子 (東京大学, D2)

梶島秀一 (大阪大学, M2)

廣瀬翔也 (東京工業大学, B4)

千葉彩乃 (大阪大学, D1)

河合宏紀 (東京大学, M1)

塚本雅之 (東京大学, D3)

片桐友二 (社会人)

松原由幸 (名古屋大学, B4)

### ワークショップ

谷中冴子 (WS長)(東京大学, D2)

豊田優 (東京工業大学, D3)

富永将太 (千葉大学, M2)

中村太一 (東京工業大学, B4)

長谷川友美 (筑波大学, M2)

鈴木宏和 (大阪大学, M2)

青井啓太 (同支社大学, B3)

畠山哲央 (東京大学, D1)

小椋美紗 (University of Warwick, B3)

松原惇高 (東京工業大学, B4)

久保尚子 (茨城大学, B4)

小林祥子 (大阪大学, PD)

鈴木翔 (東京工業大学, M2)

伊藤真理子 (兵庫県立大学, D2)

### 企画

豊田優 (企画長)(東京工業大学, D3)

馬谷千恵 (東京大学, M1)

小野田淳人 (東京理科大学, B3)

志甫谷涉 (京都大学, B4)

梶島秀一 (大阪大学, M2)

関田啓佑 (東京理科大学, M1)

杉本量平 (横浜市立大学, D1)

### 企業広告

梅澤雅和 (企業広告長)(東京理科大学, PD)

内藤寛 (広島大学, D1)

山岸浩史 (東京医科歯科大学大学院, D3)

染谷祐樹 (東京大学, M2)

瀧慎太郎 (東北大学, M2)

服部輝 (大阪市立大学, B4)

立石知佳 (奈良女子大学, B2)

宇田川侑子 (東京大学, M1)

定家 and 佳子 (京都大学, M2)

### ポスター

松浦まりこ (首都大学東京 卒業)

### 要旨集

梶島和哉 (東京大学, M2)

### Tシャツ

井関詩緒 (奈良女子大学, B4)

### 会場

梶田真司 (東京工業大学, M2)

安久都卓哉 (首都大学東京, B2)

落合紘子 (東京理科大学, M1)

### Web,Wiki

岡田俊平 (東京大学, D2)

森脇由隆 (東京大学, D1)

横山貴央 (東京大学, M2)

### 会計

西村友里 (奈良女子大学, B3)

## 7. 後援・助成・協賛



ここに、ご支援並びにご協力いただきました団体・企業の皆さまに対し、厚く御礼申し上げます。

### 【後援】

社団法人日本生化学会  
独立行政法人科学技術振興機構

### 【特別協賛】

タイテック株式会社  
メルク株式会社

### 【協賛】

株式会社イナ・オプティカ  
マイサイエンス株式会社  
テカンジャパン株式会社  
コスモ・バイオ株式会社  
東ソー株式会社  
株式会社キアゲン  
エア・ブラウン株式会社  
エッペンドルフ株式会社  
十慈フィールド株式会社  
和光純薬工業株式会社  
株式会社アズバイオ  
株式会社羊土社  
株式会社カケンジェネックス  
フナコシ株式会社  
八洲薬品株式会社  
一般財団法人化学及血清療法研究所（協賛規模・申込順）

### 【助成】

財団法人遺伝学普及会

生化学若い研究者の会 第 **51** 回

# 生命科学 夏の学校

2011・9・2(金)～9・4(日) 八王子セミナーハウス(東京都八王子市)

※アクセス:JR八王子駅・京王線北野駅・京王相模原線八王子駅からバスまたはタクシー

【特別協賛】 タイテック株式会社

【協賛】 エア・フロン株式会社、エッペンドルフ株式会社、株式会社イナ・オプティカ、株式会社キアゲン、東ソー株式会社、コスモ・バイオ株式会社、十勝フィールド株式会社、アカンジャパン株式会社、マイサイエンス株式会社、和内外工業株式会社、一般財団法人 生化学及自費研奨財団、株式会社カゲンジェネクス、株式会社アズバイオ、株式会社羊土社、フナコシ株式会社、八洲薬品株式会社

【協賛】 財団法人 道徳学園及会

【主催】 生化学若い研究者の会

【後援】 社団法人日本生化学会、独立行政法人科学技術振興機構

## シンポジウム

今回のシンポジウムは3テーマで行います。  
この中から1つのセッションを選んでご参加いただけます。

1. **in vivo, in vitro, in silico** 成功するグループ研究、共同研究の秘訣  
研究職を希望する方を中心に、グループ研究、共同研究に興味がある方を対象とします。様々な研究分野間士の相互作用によって何が生まれるのかを探るようなセッションを企画します。

in vivo ..... 本橋 誠 先生【慶應義塾大学 医学部医化学教室】

in vitro ..... 津本 浩平 先生【東京大学 医科学研究所】

in silico ..... 高田 繁二 先生【京都大学 理学部】

2. **扉を開け** ～ラボから生まれるバイオビジネス～

バイオベンチャーを起業した研究者と起業を支えるキャピタリストによる講演に加え、グループワークを通じて自らの研究を産業化する方法を考えます。

..... 船橋 友孝 様【株式会社東京大学スピンキャピタル(U/TEC) 代表取締役社長】

..... 矢橋 新一郎 様【テラ株式会社 代表取締役社長】

..... 山口 薫子 様【株式会社ナノエッジ 代表取締役社長】

3. **若手研究者のキャリアを徹底討論!**「研究者の「ワーク&ライフ」バランス」  
誰も仕事(研究)で成功したいと願う一方で、私生活も充実したいと思うものです。今の若手はどうか考えるべきなのでしょうか。本セッションでは教授、大学院生やアカデミックの研究者、企業研究者、若手研究者のビジネスマンなど異なる立場のパネラーをお迎えし、パネルディスカッションを行います。世代を超えたホッパの討論が期待されています。

コメンテーター ..... 長井 利樹 様【株式会社アカリク 取締役】

## ワークショップ

◆海外留学:行くべきか行かざるべきか

..... 西野 達哉 先生【国立遺伝学研究所】

◆結内受容体の新規メカニズムと疾患

..... 柳澤 純 先生【筑波大学大学院 生命環境科学研究科】

◆45周年記念キュベツワークショップ◆

◆これから論文を書く若者のために

..... 酒井 聡俊 先生【東北大学大学院 生命科学研究所】

◆超好材料の制御と利用

..... 今中 直行 先生【立命館大学 生命科学部】

◆嗅覚研究により高伝子-神経回路-行動制御のリンクを解る

..... 坂野 仁 先生【東京大学大学院 理学系研究科】

◆上皮細胞間タイトジャンクションを基盤とした生体システム構築

..... 月田 早智子 先生【大阪大学大学院 生命科学研究科】

◆細胞システムのロバストネスを測る

..... 竹屋 典雄 先生【岡山大学 異分野融合先端研究コア】

◆組織工学の分子機構

..... 岩崎 博史 先生【東京工業大学大学院 生命理工学研究科】

◆ABCトランスポーターとともに一歩一歩

..... 榎田 和光 先生【京都大学 (CoMS) 農学研究科】

◆合成生物学によるバイオアルコールの生産

..... 石井 泰三 先生【九州大学大学院 農学研究院】

◆タンパク質の立体構造から機能を理解する

..... 深井 崇光 先生【東京大学 放射線環境研究機構生命科学部門】

◆合同ワークショップ◆

◆生体分子・機能を測るMEMS技術

..... 竹内 昌治 先生【東京大学 生産技術研究所】

◆分子機械と分子システムの1分子ダイナミクス解析と「見る」研究への展開

..... 野地 博行 先生【東京大学 工学系研究科】

## その他の企画

◆研究発表会 ◆ポスターセッション

◆懇親会 ◆自由集会 など

## 生命科学夏の学校とは?

「生命科学夏の学校」は、生命科学分野の研究者を招いて大学院生を中心に、学部生・ポスドク・企業研究者まで全国各都府県から毎年100名以上が参加する自費型のカンファレンスです。夏には先生方に最先端の研究を聴いていただき、夜には先生方と交えての研究交流会、懇親会を行います。同じ生命科学研究者たちが集って大いに語り合う、学舎とはひと味違った魅力がここにはあります。

詳細・参加申し込みは【夏の学校】ホームページにて 2011年7月15日まで

申し込みはこちら

HTTP://WWW.SEIKAWAKATE.ORG



生化学若い研究者の会は、東日本大震災にて被災された方の、夏の学校参加費を支援いたします。